

## 第 21 回海洋工学シンポジウム –日本には海がある–

### 論文募集

日本海洋工学会  
(社) 日本船舶海洋工学会

海洋工学シンポジウムでは、過去 20 回に渡り、海洋開発に関する特別講演をはじめ、海洋工学の広い範囲にわたる最新情報をワークショップ形式で報告してまいりました。今回は、産業や教育、レジャーといった新しい海洋文化を創造しながら、日本の海をどのようにして活用していくかを考えることを目的に、「日本には海がある」をコアテーマとし、下記の分野に関する論文を募集します。コアテーマに関連した特別講演・招待講演を含めて興味溢れるシンポジウムとすることを予定しています。

- |                 |              |                   |
|-----------------|--------------|-------------------|
| 1. 海洋政策・EEZ     | 2. 海洋文化・海洋教育 | 3. マリンジャー・マリンスポーツ |
| 4. 海流・沿岸流       | 5. 海洋汚染・海域汚染 | 6. 海洋生物・生態系       |
| 7. 海洋空間利用・マリプロト | 8. 海上交通・物流   | 9. 水産             |
| 10. 海底資源        | 11. 海洋エネルギー  | 12. 海洋調査・観測       |
| 13. 水中音響・海中技術   | 14. 掘削・ライザー  | 15. 構造信頼性         |
| 16. 材料・疲労・腐食    | 17. 海洋情報処理技術 | 18. 運動応答・係留       |
| 19. 防災・減災       | 20. 津波・高潮    | 21. その他           |

ワークショップ形式ですので、学会の定期講演会のような完成された論文ばかりではなく、新しい着想、進行中の実験データ、実海域での貴重な計測結果、規則、設計法、建設技術に対する提言などまだ十分にまとまっていない論文の発表も歓迎します。また、会場内における参加者と発表者との討論によって相互啓発に資することと思いますので、従来にも増して奮って論文をご応募ください。なお、応募論文は申込みの際に提出していただいた論文概要に基づいて審査し、発表論文の決定後に本論文を提出していただきます。

#### 記

**開催日** : 平成 21 年 8 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金)

**開催場所** : 日本大学 理工学部 駿河台キャンパス 1 号館  
(〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)

**申込要領** : 下記ホームページから直接お申し込み下さい。

- 論文題目
- 著者氏名と所属 (主著者明記のこと)
- 連絡先住所、電話番号、ファックス番号、E-mail アドレス
- 400 字以内 (英語の場合は 100 ワード以内) の概要
- 希望セッション、または分野名 (前記 21 項目から複数選択)

**連絡先** : 横浜国立大学 環境情報研究院 村井基彦 住所: 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7  
電話 & FAX : 045-339-4098 E-mail : oes21@seasat.iis.u-tokyo.ac.jp

**申込締切** : 平成 21 年 4 月 27 日 (月) 必着

#### 本論文の提出その他 :

- 発表の可否の通知は平成 21 年 5 月中旬
- 本論文の提出期限は平成 21 年 6 月 22 日 (月) 必着
- 本論文の執筆と発表は、日本語、英語いずれにても可。本論文の長さは、執筆要領に従い、表、図面などを合わせて 2~8 枚とし、PDF ファイルによる投稿を原則とします。
- 本論文は CD-ROM を作成し配布いたします。

**ホームページ** : 参加登録、本シンポジウムに関する一般情報、原稿執筆要領など論文・講演に関する情報については下記ホームページをご覧ください。

<http://seasat.iis.u-tokyo.ac.jp/oes21/>

**協賛予定** : 海洋音響学会、海洋開発フォーラム、海洋政策研究財団、(社) 海洋調査協会、海洋調査技術学会、海洋理工学会、環境法政策学会、(社) 計測自動制御学会、(社) 国際海洋科学技術協会、(社) 資源・素材学会、(社) 石油学会、石油技術協会、(社) 電気学会、(社) 土木学会、(社) 日本エネルギー学会、日本沿岸域学会、(社) 日本海事センター、日本海水学会、日本海洋学会、(社) 日本化学会、(社) 日本機械学会、(社) 日本建築学会、(社) 日本航海学会、(社) 日本深海技術協会、(社) 日本水産学会、日本水産工学会、(社) 日本鉄鋼協会、(社) 日本マリンエンジニアリング学会、(社) 物理探査学会、(社) 水環境学会、(社) 溶接学会 (順不同)